

産業振興

問 地井武男ふれあい記念館の運営方針、予算と費用負担、運営スタッフは。また、市の商業振興策とどのように結びつけるか。

答 市内商工業の活性化や地域商店街のにぎわいの掘り起しを目的として、商工会を中心となって実行委員会を組織し、商店街の空き店舗を利用して開設したもので、今年度の総事業費500万円に対し、建物改修費補助225万円、運営経費補助として100万円、計325万円を商工業活性化支援事業として補助と考へるが。

答 合併時に市民課窓口を改修して、証明窓口とは別にローカウンターによる相談窓口を設置し、相談機能の強化を図り、また、市民課窓口での証明事務範囲を拡大するとともに、発券機の設置やフロアマネージャーを配置して総合窓口化を図つてきましたが、一方で市民課窓口で取り扱っている業務が年々複雑化しており、今後、さらなる窓口業

總務

問 総合窓口によるワンストップサービスを実施する自治体が増えている。本市でも一歩進んだ住民サービスの取り組みが必要だと考えるが。

答 合併時に市民課窓口を改修して、証明窓口とは別にローカウンターによる相談窓口を設置し、相談機能の強化を図り、また、市民課窓口での証明事務範囲を拡大するとともに、発券機の設置やフロアマネージャーを配置して総合窓口化を図つてきましたが、一方で市民課窓口で取り扱っている業務が年々複雑化しており、今後、さらなる窓口業

また、職員の人才教育については、匝瑳市人材育成計画に基づき、本市の行政課題を掲げた地方分権や行政改革、市民との協働について積極果敢に対応でき

限發揮できるよう、人材の育成に努めていきたいと考えています。

また、職員を活かす制度化については、これまでも勤務成績が優秀で、管理職としての能力が高いと評価した職員は、年功序列にとらわれず昇進させています。

問 職員採用試験の現状と
今後の取り組みは。また、
職員の人才培养は。

る職員を育成するため市
及び東総地区広域市町村圏
事務組合、千葉県自治研修修
センター等が実施する各種
研修に参加・受講していく
す。このほか、職員の政策
形成能力の向上、自己啓発
活動を支援するため、職員
提案制度の導入や自主研修
グループに対する助成、企
業的研修を受講しており
引き続き職員一人一人の意
欲を高め、その能力を最大

答
埼市職員勤務成績評定は、定期的に実施し、昇任は、匝瑳市職員の任用に関する規則に基づき、職員の勤務成績を考慮した上で選考による任命を行っています。

なお、人事異動は、年1回の定期異動を原則として各所属長と人事ヒアリング等を行い、業務内容等を把握・精査の上、適材適所を考慮した配置を行っています。



地井武里ふれあい記念館

■議案第1号	反対の立場 賛成の立場	■議案第2号	反対の立場 賛成の立場
■議案第3号	反対の立場 賛成の立場	■議案第4号	反対の立場 賛成の立場
■議案第5号	反対の立場 賛成の立場	■議案第6号	反対の立場 賛成の立場

なお、議案第1号

反對討論

平成24年度の個人住民税の現年分の滞納状況は、5万円未満の滞納が638件と59%を超過しており、5万円未満の滞納が圧倒的に多く、収入の少ない人が納税に苦しんでいるのではないかと推察できます。このことを考慮し、市政運営を行うべきだと思います。

また、基本構想や基幹業として支援するとしています。ですが、農業水産業は予算全体の2・9%とどまつており、極め少額の予算となっていますので、積極的に農業支援を行うべきだと考えます。

国保会計へは基準外の繰り入れを行い、事業を着実に進めていく中で、財政調整基金を繰り入れしないことを高く評価するものです。

A stylized illustration of three red maple leaves on a thin stem. The leaves are deeply lobed and have a vibrant red color with some darker veins. The drawing is done with simple black outlines and some internal shading.

は、国・県の支出金
有利な市債を活用し
の事業で、タイミン
を逃さず実施してい
ことも評価できます。
以上申し述べまし
ことから、限られた
源を効率的、効果的
執行したものと評
し、原案のとおり認
すべきものと考え
す。

保育料の第3子無料の実施や第2児童ラブが新設され、児童の健全育成が図られました。

人口減少対策としては、転入者マイホーム取得奨励交付事業や、住促進空き家バンク事業により、対策の効果があらわれており、災対策としては、防災行政無線整備事業が施されて、迅速な情報伝達体制の確保や、海沿い地区の津波避難対策強化が図られ、安心のまちづくりが前進しました。